

2010年春闘京滋地本活動方針（案）

JMIU京滋地本

かつてない情勢（経済情勢、政治情勢）の変化をしっかりとつかみ、「くらし、雇用、将来展望、労使関係、組織建設」を合言葉に、「攻めの春闘」をたたかいぬこう

1、2010春闘は、かつてないほど深刻な「雇用・生活不安」のもと、「雇用・生活危機突破」の切実な要求がひろがっています。同時に中小企業の経営困難も深刻です。こうしたもとでは、要求が奥深く埋もれてしまい、展望をさししめし討議しないかぎり表面に出てきません。

2、重要なことは、私たちが情勢をしっかりとつかみ、「くらしや雇用」の要求を高く掲げ、元気に春闘をたたかってこそ将来展望を作ることができることに確信を持つことが必要です。企業の将来展望も労働者の要求をぶっつけて議論をたたかわせてこそ開かれるのです。

3、大企業・財界とのせめぎ合いの争点は、「格差と貧困拡大」の国民犠牲の従来路線か、「国民の購買力拡大による景気拡大」かです。大企業・財界は、景気悪化のもとで「国民の購買力は、新しい製品を作り世に出すことによって拡大する」として、「定昇などは後まわし」にし、政府に企業減税を迫りつつ国民には消費税の増税を求めています。

しかし、大企業・財界の言い分はこの間の歴史が示すように破たんしており、現在の「悪魔のサイクル」に陥っているのです。

4、昨年の衆議院選挙で自民党政治が国民の審判で崩壊し、新政権が誕生しました。しかし、新政権は必ずしも労働者の雇用やくらしをまもる政治を行っているとは言い難い状況にあります。こうしたもとでたたかわれる2010年春闘は、いままでにない特別の意味を持っています。それは、国民が切り開いた歴史の新しい1ページを、労働者の雇用とくらしをまもる政治を実行させていく一大闘争にしていこうことです。

4、私たちは、「すべての仲間の賃上げこそ最大の景気対策」であり、国民の購買力を拡大してこそ経済の再生になることに確信を持ち、2009年春闘を大きくたたかいます。

1、2010春闘3つの課題の推進

（1）「すべての仲間の賃上げ」の実現で、雇用・生活の危機突破をめざす

①「不況」を打開し、労働者・国民の雇用・生活の危機を突破することは、圧倒的多数の国民から支持される世論になっていることに確信を持ち、経済の悪循環（失業増大・生活悪化→消費冷え込み→中小企業の売上大幅減→倒産・リストラ→失業増大・生活悪化・・・）の打開には、すべての仲間の賃上げが必要であるとの意思統一を図ります。

（2）雇用と職場をまもり、企業の将来展望をつくる労使関係の前進をめざす

①経営者にはどんなことがあっても「不況」をのりきり、企業をつぶさず雇用とくらしをまもる責任があることをあらためて迫り、労使が対等な立場で話し合うことができる労使関係を確立します。

②「要求してこそ企業（職場）を守れる」ということに確信を持ち、暮らしの実態に基づく要求を突き付け、「どうしたら雇用とくらしをまもることができるのか」を徹底して迫り、企業の将来展望と労使

関係の前進をめざします。

(3) 組織の拡大・強化、真の産業別労働組合へと前進する春闘

- ①支部・分会が元気で活動し、地本に結集しつつすべての活動に産業別統一闘争が貫かれてこそ、JMIUが真の産業別労働組合へと前進し、春闘をはじめ職場での要求実現につながるのです。
- ②雇用・生活危機突破が切実な要求になっている今だからこそ、労働者の権利をまもる先頭に立っているJMIUの組織拡大が求められているのです。組織拡大こそ最大の要求闘争です。

2、2010 春闘での各支部・分会の獲得目標

- (1) 不況が深刻化する下で、組合員のくらしは深刻化しているのに要求は委縮しがちです。これを打開し生活実態に根ざした要求作りをおこないます。2010 春闘 JMIU 統一要求書をしっかりと討議し、全支部・分会が統一要求日である 2 月 25 日には必ず要求を提出します。
- (2) 2010 春闘西日本集会 (2 月 28 日、神戸) への全組合員参加、少なくとも昨年を上回る参加をかちとります。その前日に行われる青年交流会には青年を参加させ、春闘の先頭に立ってもらう。
- (3) 全国統一ストライキに全支部・分会が参加する。とりわけ回答指定日翌日の 3 月 11 日(木)の統一ストライキには、すべての支部・分会がリレーストライキを行う。
- (4) 組織拡大、労働共済の加入拡大
職場にいるすべての未加入労働者に声をかけ、JMIU への加入や共済会拡大目標をやりきる。地本が提起する未組織労働者への宣伝活動に積極的に組合員を参加してもらう。

3、各支部・分会が年内にやりきる課題

- (1) 春闘パンフを執行委員会で読み合わせ討議します。
- (2) 要求作りの準備活動として、
 - ①全組合員による「要求アンケート」の実施。
 - ②昨年を超える「家計簿調査」活動の実施。
- (3) 産業別統一闘争に見合う各支部・分会の春闘日程を確定する。
- (4) 組織建設・労働共済加入の拡大目標数、対象者名、担当者名などが確定している支部・分会は実践計画を立てつつ実践する。目標が未定のところは、拡大目標数、対象者名、担当者名を立て、具体化計画を作る。